

学校経営基本構想

江戸川区立鹿本小学校長 奥村孝史

1 めざす学校

「6年生があこがれの存在である学校」

- (1) 一人一人のよさをのばし、人としての基礎をつくる
- (2) 子供を育てる情熱と向上心をもった人（教員）をつくる
- (3) 地域のコミュニティとしての機能を果たし、地域発展の核となる
- (4) 夢をもち、夢をはぐくみ、夢を伝え合う

2 めざす児童

◎考える子

自分の考えをしっかりもち、常に向上心をもって取り組む子

○やさしい子

互いの人格を尊重し、正義と思いや意をもつやさしい子

○たくましい子

安全で健康な生活を心がけ、最後まであきらめずに実行する

3 具体的な方策

(1) 一人一人のよさをのばし、人としての基礎をつくる

①心の育成

- ・ 道徳教育を充実し、いじめを許さない
- ・ 明るいあいさつと適切な言葉遣いを徹底する
※朝の挨拶の徹底

②基礎的・基本的な確かな学力の定着

- ・ 規律ある学習習慣を確立する
- ・ 問題解決学習の定着を図る（算数授業スタンダードの徹底）

③体力づくり、健康づくり

- ・ 健康に対する正しい知識と望ましい生活習慣を身につける
（食育、薬物乱用防止教室）
- ・ ランランタイムの拡充（全校児童による登校時の校庭3週ジョギング）
- ・ 食後の歯磨きを習慣化する

④一人一人への支援の充実

- ・ 特別支援教育の理解・推進を図る
- ・ 特別支援教室における巡回指導の推進を図る
- ・ エンカレッジルームの活用を図る
- ・ 関係機関との協力・連携を強化する

(2) 子供を育てる情熱と向上心をもった教員をつくる

- ①「わかる授業」「楽しい授業」をめざした授業改善
- ②生活指導の徹底
- ③児童・保護者・地域から信頼される教職員集団
- ④学習指導要領への確実な対応
 - ・プログラミング教育、英語教育、コミュニケーション能力向上
- ⑤学校を支える地域、保護者の協力体制の確立
 - ・保護者によるボランティア、学校応援団（図書ボランティア等）の組織的な支援体制を整備する
 - ・地域ボランティアの積極的活用（学習ボランティアの授業参加）
 - ・小中連携教育について年間を通じて意図的・継続的に実施
- ⑥交流活動の充実（鶴岡市姉妹校、近隣都立学校）

(3) 地域のコミュニティとしての機能を果たし、地域発展の核となる

- ①開かれた学校づくり
 - ・情報の積極的な公開（学力等各種調査結果）
 - ・各学年のHP 定期的更新
 - ・学校評価の活用と積極的な改善（ICTの活用）
- ②地域ぐるみの安全対策
 - ・学校安全に関わる組織との連携に努める
 - ・避難訓練、セーフティ教室、交通安全教室を実施し、改善を図る
- ③心遣いが感じられる環境づくり
 - ・校内掲示、美化活動の充実を図り、学校全体で校内美化、環境作りに努める
 - ・子供の作品を計画的に掲示・展示する

(4) 夢をもち、夢をはぐくみ、夢を伝え合う

- ①かかわりを重視した教育活動を展開する
 - ・6年生が主体となるような場を設定する
 - ・異学年交流（こじか班活動）の充実を図る
 - ・キャリア教育の充実を図る（キャリアパスポートの活用）
 - ・子供の自己肯定感・自己有用感を高める
- ②受け継いできた伝統文化を教育活動に取り入れる
 - ・地域の自然、文化・伝統および技術等を教育活動に積極的に取り入れる
- ③豊かな心を育てる
 - ・読書活動の充実を図る